

逐條土地收用法資料

(一一)

高 坂 孝 三

第二十四條 地方長官前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ市

町村長ニ送付スベシ但シ同條第一項第三號ノ書類ハ此ノ

限ニ在ラズ

市町村長前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク公告ヲ爲

シ公告ノ日ヨリ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スベシ

施行令

第七條 土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタルト

キハ市町村長ハ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

一、本條改正ノ理由

(內務昭和二十一年
改正案説明書)

(原文) 地方長官カ收用審査會裁決申請書ヲ受ケタルトキハ土地物件ニ關スル調書ヲ除クノ外書類ヲ市町村長ニ送付シ送付ヲ受ケタル市町村長ハ遲滯ナク公告ヲ爲シ公告ノ日ヨリ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供セシムトス此ノ手續ハ現行法ト同一ナリト雖公共ノ利益トナルヘキ事業ノ速成ヲ期スルカ爲ニ市町村ヲシテ遲滯ナク公告ヲ爲サシムトス

或ハ地方長官カ市町村長ニ下付スヘキ手續期間及市町村長ノ公告手續期間ヲ法律上制限スルノ希望ナキニ非スト雖萬一其ノ期間ヲ經過スルトキハ裁決申請ハ效力ヲ失フコトトナリ却テ手續ヲ煩雜ナラシメ事業ノ進捗ヲ阻害スルコトアルヘキヲ以テ之等ハ行政監督ノ方法ニ依リ其ノ希望ヲ達セシムトス

二、事業ノ記載ナキ本條ノ公告

(行裁昭和二年第七一號
同二年九月二十二日宣告)

(要旨) 土地收用法第二十四條ニ依ル公告ニ土地收用事業ノ記載ナキモ起業者ト土地所有者トノ間ニ協議ヲ爲シタル事實及同法第二十三條ニ依リ起業者カ土地所有者等ニ對シテ通知ヲ爲シタル事實アリテ土地所有者等ニ於テ自己ニ關係アル土地收用申請ニ係ル書類カ村役場ニ於テ縦覽ニ供セラレ居ルコトヲ知り得ヘキ場合ニ於テハ右公告ハ有效ナリ

(原告主張) 土地收用法第二十四條後段ニ於テ市町村長ニ公告ヲ爲サシメ公衆ニ書類ノ縦覽ヲ許スコトト爲シタルハ土地收用ニ關シ其ノ土地關係者ヲシテ一切ノ防禦方法ヲ講スル機會ヲ與フルノ法意ナリ然レハ該公告ニハ如何ナル事業ノ爲ノ土地收用ナルヤヲ明示シ關係者ヲシテ自己ニ關係アル土地收用ノ書類ナルコトヲ知ラシムルノ必要アルハ當然ナリ然ルニ本件ニ於テ前芝村長北河文吉ノ爲シタル右公告ニハ「公告」「土地收用法第二十四條ニ依リ左ノ期日ニ於テ當役場ニ縦覽セシム」「期日自大正十五年十一月十八日至大正十五年十一月二十四日」「大正十五年十一月十七日前芝村長北河文吉」トアルノミナルヲ以テ原告

等ハ此ノ公告ニ依リテハ縦覽ニ供セラレタル書類カ如何ナル事業ニ關スルモノナルヤ原告等ニ關係アルモノナルヤ否ヤヲ知ルニ由ナク從テ原告等カ該書類ノ縦覽ヲ爲サス又意見書ノ提出ヲモ爲ササリシハ當然ナリ然レハ愛知縣收用審査會ノ裁決ハ原告等ニ意見書提出ノ機會ヲ與ヘスシテ爲シタル違法ノモノナリ

(判決理由) 本件土地收用ニ付前芝村長カ土地收用法第二十四條ニ基キ公告ヲ爲シタルコトハ當事者間争ナキ所ニシテ而モ起業者ト原告等トノ間ニ協議ヲ爲シタルモノ不調ニ終リタルコト從テ起業者カ愛知縣收用審査會ニ收用ノ申請ヲ爲シ起業者ヨリ原告等ニ土地收用法第二十三條ノ通知ヲ爲シタルコトハ原告ノ争ハサル所ナリ然レハ前芝村長ノ爲シタル本件公告ハ其ノ記載原告主張ノ如クナルモ原告等關係者ハ之ニ依リ自己ニ關係アル土地ノ收用申請ニ係ル書類カ村役場ニ於テ縦覽ニ供セラレ居ルコトヲ知り得ヘキモノト認ムルヲ相當トス從テ本件公告ハ土地收用法第二十四條ノ公告トシテ有效ニシテ右公告ノ效力ヲ否定シ本件裁決ヲ違法トシテ取消スヘキモノナリト爲ス原告ノ主張ハ理由ナシ

三、裁決申請書中所有者ノ表示ノ誤謬ト本條ノ公告

(行裁昭和九年第三五〇號
同十一年十一月二十六日宣告)

(要旨) 土地收用法第二十四條第二項ニ依リ收用裁決申請ノ書類カ公告セラレ公衆ノ縦覽ニ供セラレタル場合ニ於テ其ノ裁決申請書中土地ノ所有者ヲ賃借人ト爲シタル誤謬アリタルコトノミニ依リ該土地ニ付同條項ニ依ル公告ナシト謂フヲ得ス

(判決理由) 收用裁決申請ノ書類カ土地收用法第二十四條第二項ニ依リ公告セラレ公衆ノ縦覽ニ係セラレタルコトハ爭ナク而モ乙第四號證中「大阪池田線放射道路ノ牛立軌道扛上工事ニ付小生所有地宇三屋内法第壹百五拾七番地ノ一、地上拾坪餘御當社讓受ケ且ツ數拾坪ノ使用之有ル様ニ伺ヒ居候處牛立字辨中ニテ二筆入地ハ御通知ヲ受ケ居リ候得共前記一五七番地ハ不用ニ之有候ヤモシ不用ニ之有リ候節ハ杭棒小生取ノケ申候間至急御返事小生宅迄御越シ被下度ク候又小生未ダ他人ノ地面ヲ使用セシ事之無ク少々乍ラ他人ニ作ラセ居リ候本日庄内役場ニテ土地收用書類ヲ見ルニ右様ニ書キ之有リ申候」トノ記載ニ依テ見レハ原告ハ右關係書類ヲ縦覽シタルノミナラス該關係書類中本件係争ノ土地ノ所有者タル原告ヲ其ノ關係人ト記載セル誤謬ヲ發見シ從テ原告ハ之ヲ收用審査會ニ提出スルノ機會ヲ有シタルモノト認ムルヲ相當トスヘク此ノ如キ場合ニ於テハ其ノ裁決申請

書中土地ノ所有者名義ニ誤謬アリタルコトノミニ依リテ該土地ニ付土地收用法第二十四條第二項ノ公告ナシト謂フヲ得ス之ヲ要スルニ本件係争ノ土地ノ收用及使用ニ付テハ其ノ所有者名義ヲ誤レルコトアルモ原告ニ對シ土地收用法所定ノ手續カ何レモ有效ニ履踐セラレタルモノト認ムヘキモノトス而モ右所有者名義ノ誤謬ハ本件ノ裁決前ニ起業者ノ申請ニ依リ訂正セラレ裁決ハ原告ヲ本件係争ノ土地所有者トシテ爲サレタルコトハ當事者間争ナキ所ナルヲ以テ該裁決ヲ違法ナリトスル原告主張ハ理由ナシ

第二十五條 土地所有者及關係人ハ前條縦覽期間ノ初日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ意見書ヲ提出スルコトヲ得

一、本條ノ法意

(大審判 昭和四年(オ)第一九二九號)
同 五年五月二十八日言渡

(要旨) 土地收用法第二十五條ノ規定ハ土地所有者及關係人ニ對シ意見書提出ノ權能ヲ與フルニ止マリ其ノ不提出ニ對シ何等失權ノ效果ヲ生セシムルノ趣旨ニ非ス

(判決理由) 損失補償額ニ付起業者ノミ申立アリテ土地所有者及關係人ヨリノ申立ナキ場合ニハ起業者ノ申立タル額ヲ下ラサ

ル限り收用審査會ハ其ノ適當ト思料スル額ニ於テ裁決シ得ルモノト謂フヘク從テ又同裁決ニ對シテ不服アルトキハ起業者ヨリハ勿論土地所有者及關係人ヨリモ常ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘク同法第二十五條ノ意見書ヲ提出セサルコトハ敢テ右ノ出訴ヲ爲スノ妨ケトナラサルモノトス此ノコトハ同條ノ規定ハ土地所有者及關係人ニ對シ意見書提出ノ權能ヲ與フルニ止マリ其ノ不提出ニ對シ何等失權ノ效果ヲ生セシムルノ趣旨ニ非サルコト學理上明ナルノミナラス同法第八十二條カ廣ク收用審査會ノ損失補償決定ニ對シ不服アル者ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ許シ毫モ第二十五條ノ意見書ヲ提出セサル土地所有者及關係人ノ出訴ヲ制限セサルトコロニ徴シ疑ヲ容レズ

二、意見書ノ不提出ト裁決ノ範圍

(一) (行裁大正三年第一二四號)
同三年七月二十九日宣告

(要旨) 土地收用法第二十四條ノ手續ヲ爲シタルニ拘ラス土地所有者又ハ關係人ヨリ意見書ヲ提出セサルトキハ審査會ハ起業者ノ申立範圍内ニ於テ裁決スルコトヲ得ルモノトス

(判決理由) 土地收用法第四十一條ハ當事者ノ申立範圍ヲ超エ

テ裁決スルコトヲ禁止スルニ止マリ各當事者ヲシテ必ス申立ヲ爲サシメ其ノ範圍内ニ於テ裁決セシムルノ法意ニ非ス從テ同法第二十四條ノ手續ヲ爲シタルニ拘ラス土地所有者又ハ關係人ヨリ意見書ヲ提出セサルトキハ審査會ハ起業者ノ申立ノ範圍内ニ於テ裁決ヲ爲スコトヲ得

(二) (内務明治三十七年四月十一日甲第三三號福岡縣知事宛土木局長回答)

(要旨) 土地收用法第二十五條ニ依リ土地所有者又ハ關係人ニ於テ成規ノ期間内ニ意見書ヲ提出セサルモ收用審査會ハ起業者ノ申立ヲ不當ナリト認メタルトキハ其ノ信スル所ニ依リ裁決ヲ與フルヲ相當トス

(原文) 土地收用法第二十五條ニヨル意見書ノ提出ナキ場合ニ於ケル收用審査會ノ裁決ニ關シ四月五日發第二一二二號御照會ノ趣了承右ハ御意見ノ通ニテ可然ト存候此段及回答候也(福岡縣知事伺) 土地收用法第二十五條ニ依リ土地所有者又ハ關係人ニ於テ成規ノ期間内ニ意見書ヲ提出セサルモ(法律ヲ熟知セサル爲メ提出セサルモノ多シ)收用審査會ニ於テ起業者ノ申立ヲ不當ナリト認メタルトキハ同法第四十一條ノ範圍ナルヲ以テ同會カ信スル所ニ依リ裁決ヲ與ヘ可然哉目下差懸リタル義有之折返御回答相成度此段及照會候也

(三) (内務 明治四十二年七月二日特甲第一)
七號京都市知事宛土木局長回答)

(要旨) 收用審査會ハ起業者ノ申立ヲ不當ト認メタルトキハ假令土地所有者及關係人カ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサル場合ト雖モ其ノ信スル所ニ從ヒ起業者ノ申請額ヲ超過裁決シ得ルモノトス

(原文) 本年六月二十二日土第七六四九號ヲ以テ土地收用法ニ關シ疑義ノ廉伺出相成候處

第二項 收用審査會ニ於テ起業者ノ申立不當ト認メタルトキハ假令ヒ土地所有者及關係人ニ於テ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサル場合ト雖モ同會ノ信スル所ニ從ヒ起業者ノ申請額ヲ超過裁決シ得ル義ト存候
右及回答候也

(京都府知事伺) 二、收用審査會ニ於テ補償金ノ裁決ヲ爲スニ際シ用地所有者及關係人カ收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサルトキハ同法第四十一條ニ定マル範圍ナルモノハ起業者申請額ニ止マリ被收用者ニ對スル範圍ナキヲ以テ此ノ場合ニ在テハ被收用者ニ於テハ自己ノ權利ヲ拋棄シタルモノト認メ起業者申請額通裁決ヲ爲ス外途無之義ト思料致候得共他府縣ニ對シ右ニ反スル貴省ノ御注意有之趣承知致候果シテ然ラハ右等ノ場合ハ起業者申請額ニ對シ増加裁決シ得ヘキ義ニ有之候哉

右二項疑義相生シ目下差懸リ居候件有之候條折返何分ノ御指撥相成度此段相伺候也

(四) (内務 明治四十四年八月十七日)
福島縣知事宛土木局長回答)

(要旨) 土地所有者ヨリ意見書ノ提出ナク又申立ナキ場合ニ於テモ收用審査會ハ適當ト認ムル裁決ヲ爲シ得ルモノトス

(原文) 土地收用法ニ關スル疑義ノ件土地所有者ヨリ意見書ノ提出ナク又申立ナキモ審査會ニ於テ適當ト認ムル裁決ヲ爲シ可然ト存ス

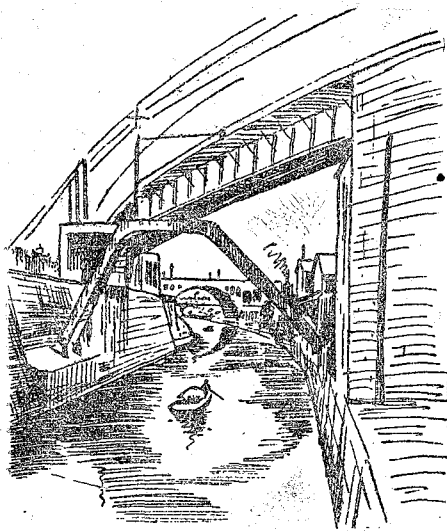
(福島縣知事伺) 土地收用法ニ關シ差懸リ左記疑義相生シ候條折返何分ノ御回示相煩度此段及照會候也起業者ヨリ協議不調ノ理由ヲ以テ裁決ヲ求ムルノ申請アリタルモ土地所有者ヨリ法第二十五條ニヨル意見書ヲ提出セサル場合ニ於テハ申請者申請ノ趣旨ニ基キ直ニ裁決ヲ與フヘキヤ意見書ノ提出ナキハ權利ノ拋棄ニシテ起業者ノ申請ニ對シ異議ナキモノト認ムヘク即チ何等申立ナキモノトシテ積極ニ決スルヲ至當トスルカ如シト雖モ斯クスルトキハ意見書ト申立トラ混同スルニ至ルノ結果本件ノ如ク意見書提出ナキトキハ申立ナキニ歸シ隨テ土地所有者ノ申立ノ範圍ハ之ヲ知ルコト能ハサルコトトナリ第四十一條カ双方ノ申立ノ範圍ヲ確定スルヲ必要トスルノ趣旨ニ背クノミナラス本

法ノ申立ノ形式ニ關シテ何等規定スル處ナキヲ以テ有モ實質上申立アリト認メ得ヘキ場合ニ於テハ申立アリトシテ其範圍ヲ確定スル爲メ職權上調査スルヲ以テ本法精神ニ適合スルモノト解スヘク而シテ起業者ノ申請書ニ事由書ト題スル附屬書類ヲ添附シ該書類ニ依レハ所有者ノ申立ツル處ノ價格並ニ事由ト之ニ對スル起業者ノ之ニ應シ難キ旨ノ意見等明瞭ナル場合ニ於テハ所有者ハ實質上異議ヲ申立ツルモノナル事ヲ認知シ得ヘク即チ双方ノ間ニ爭アルコト疑ナキ所ナルヲ以テ審査會ハ其ノ爭點ヲ明確ニシ且ツ申立ノ範圍ヲ確定スル爲メ第四十三條ノ適用等ニ依リ職權上ノ調査ヲ行ヒタル後初メテ裁決ヲ與フヘキモノト解セラレ疑義ニ涉リ候

(五)

(行裁昭和六年第八五號)
同七年七月十六日宣告

(要旨) 收用審査會ハ收用地上ニ在ル家屋ニ付起業者カ收用ヲ請求セス所有者ヨリモ之カ收用請求ノ意見書ヲ提出セサル場合ニ於テハ右收用ニ付裁決ヲ爲ササルモ違法ニ非ス
(判決理由) 土地收用審査會ハ土地所有者又ハ關係人カ意見書ヲ提出セサル場合ニ於テハ其ノ申立ナキ事項ニ付裁決ヲ爲ササルハ違法ニ非サルコト當裁判所ノ既ニ判示スル所ノ如シ(大正四年七月二十八日宣告同三年第五十九號ノ事件判決參照、尙右



判例ハ昭和六年十二月三日宣告同四年第二百二十九號事件判決ニ於テ殘地ノ補償ニ關スル限り變更セラレタルニ止マルモノトス)而シテ本件係爭家屋ノ收用ニ付テハ起業者カ何等ノ申立ヲ爲サス原告ヨリ之カ請求ノ意見書ヲ被告ニ提出セサリシコト當事者間爭ナキ所ナルカ故ニ被告カ本件裁決ニ於テ係爭家屋ノ收用ニ付何等裁決スル所ナカリシハ違法ニ非ス
註、意見書ノ不提出ト裁決ノ範圍ニ關シテハ此ノ外數多ノ判例ガ有ルガ其レ等ハ總テ後出第四十一條ノ部ニ掲ゲル。
意見書ノ不提出ト殘地ノ損失補償ニ付テハ次項(四)參照